

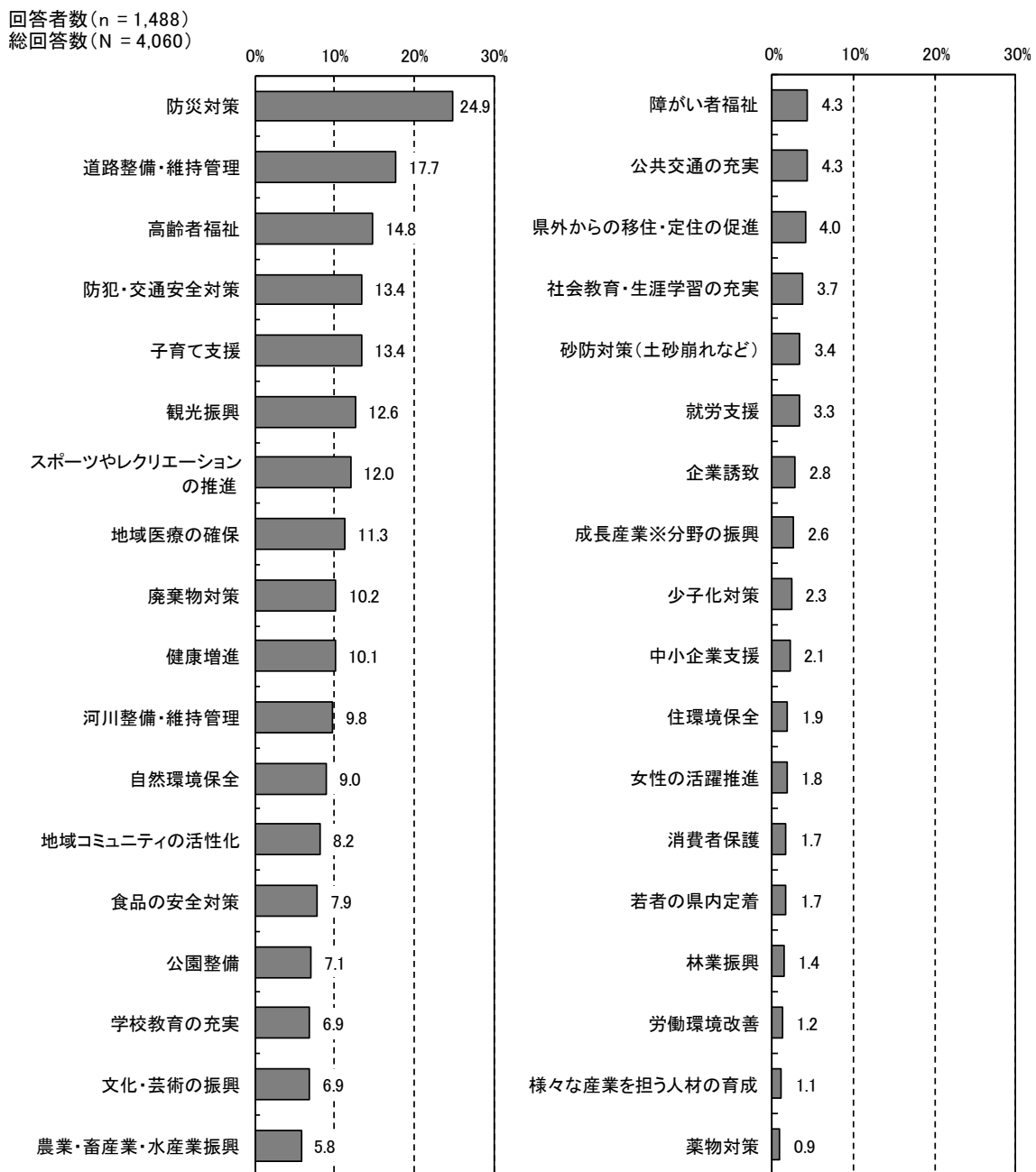
問10 県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。(それぞれ5つまで)

【県の取組でよくやっていると思う分野】

全体(図10-1)で見ると、「防災対策」が24.9%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」(17.7%)、「高齢者福祉」(14.8%)の順となっている。

図10-1 県の取組でよくやっていると思う分野



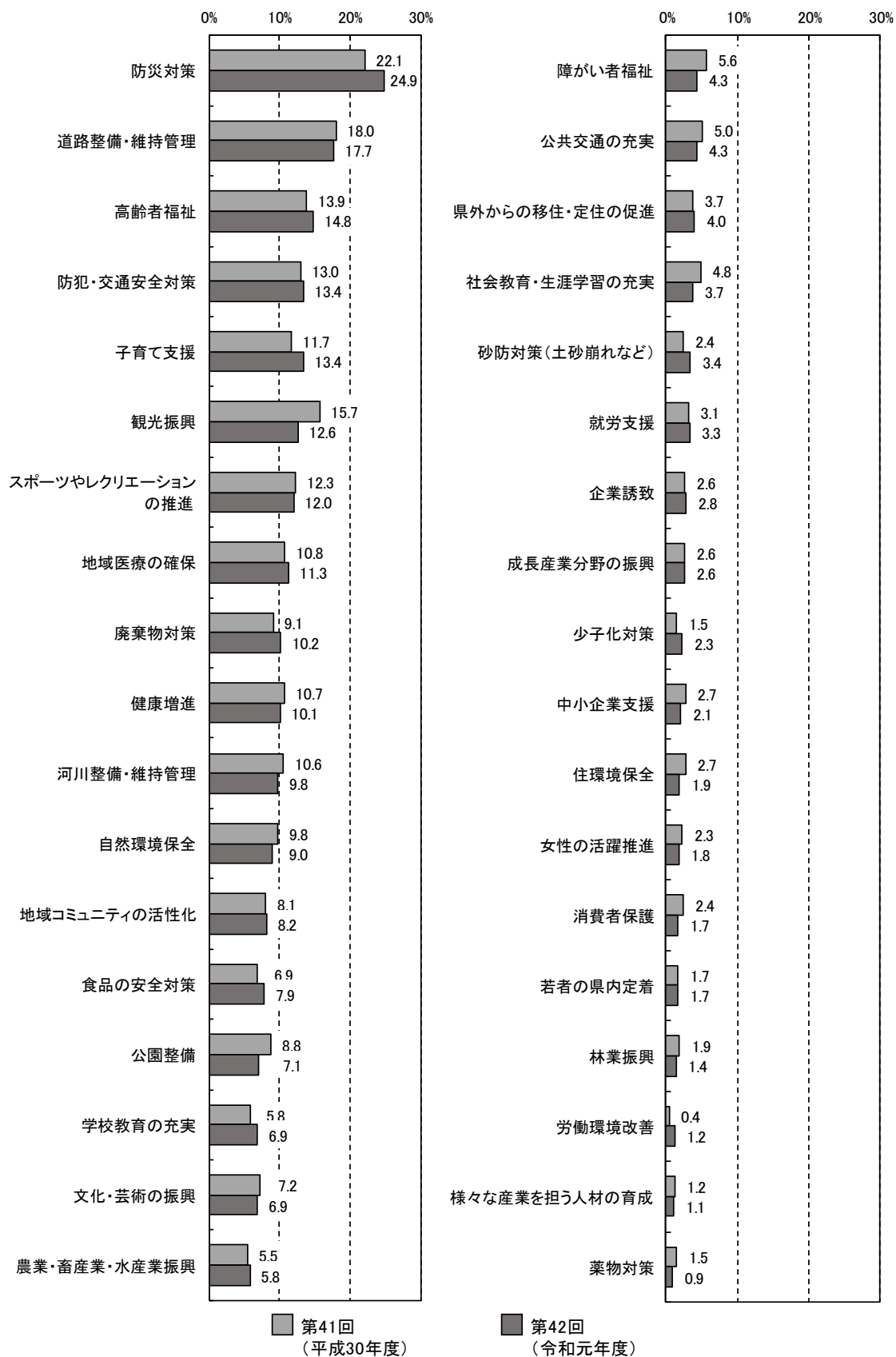
※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている(令和元年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

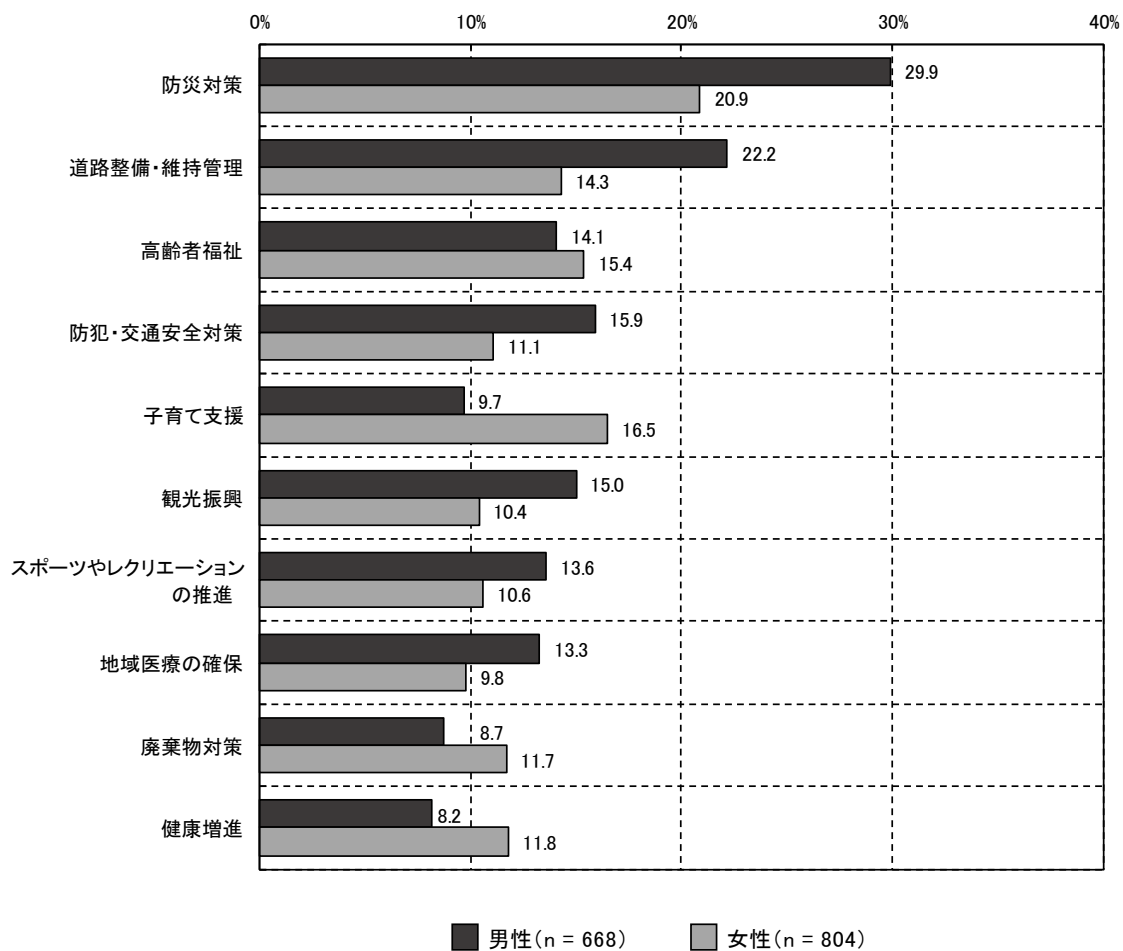
前回比較（図 10-2）で見ると、前回と同様に「防災対策」が 24.9%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」（18.0%）となっている。前回第 4 位の「高齢者福祉」が第 3 位になっている。

図 10-2 【前回比較】 県の取組でよくやっていると思う分野



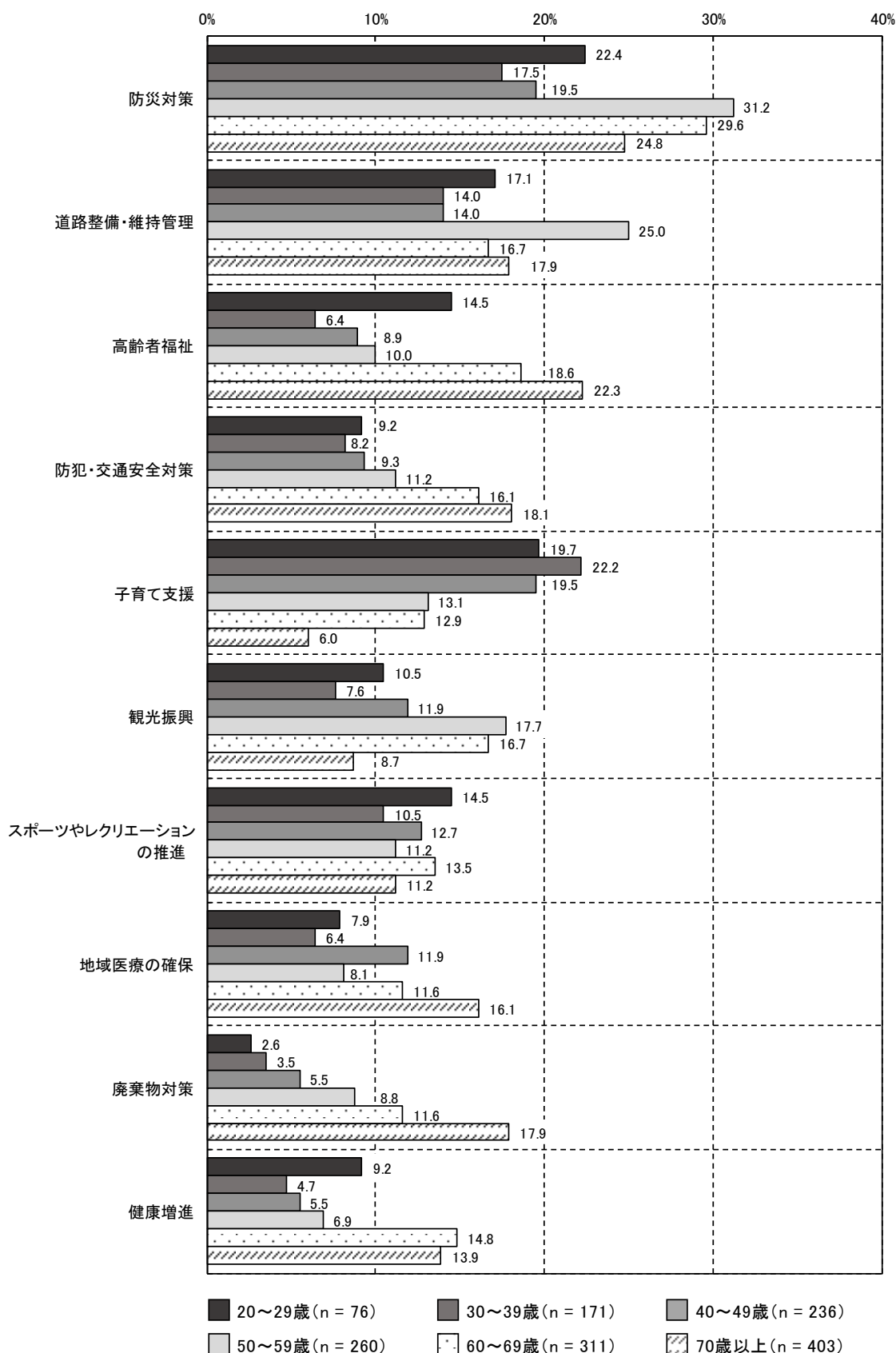
性別（図10-3）で見ると、男女ともに「防災対策」が最も高く、次いで、男性は「道路整備・維持管理」、女性は「子育て支援」となっている。「防災対策」では男性が女性より9.0ポイント高く、「子育て支援」では、女性が男性より6.8ポイント高くなっている。

図10-3 【性別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位10施策)



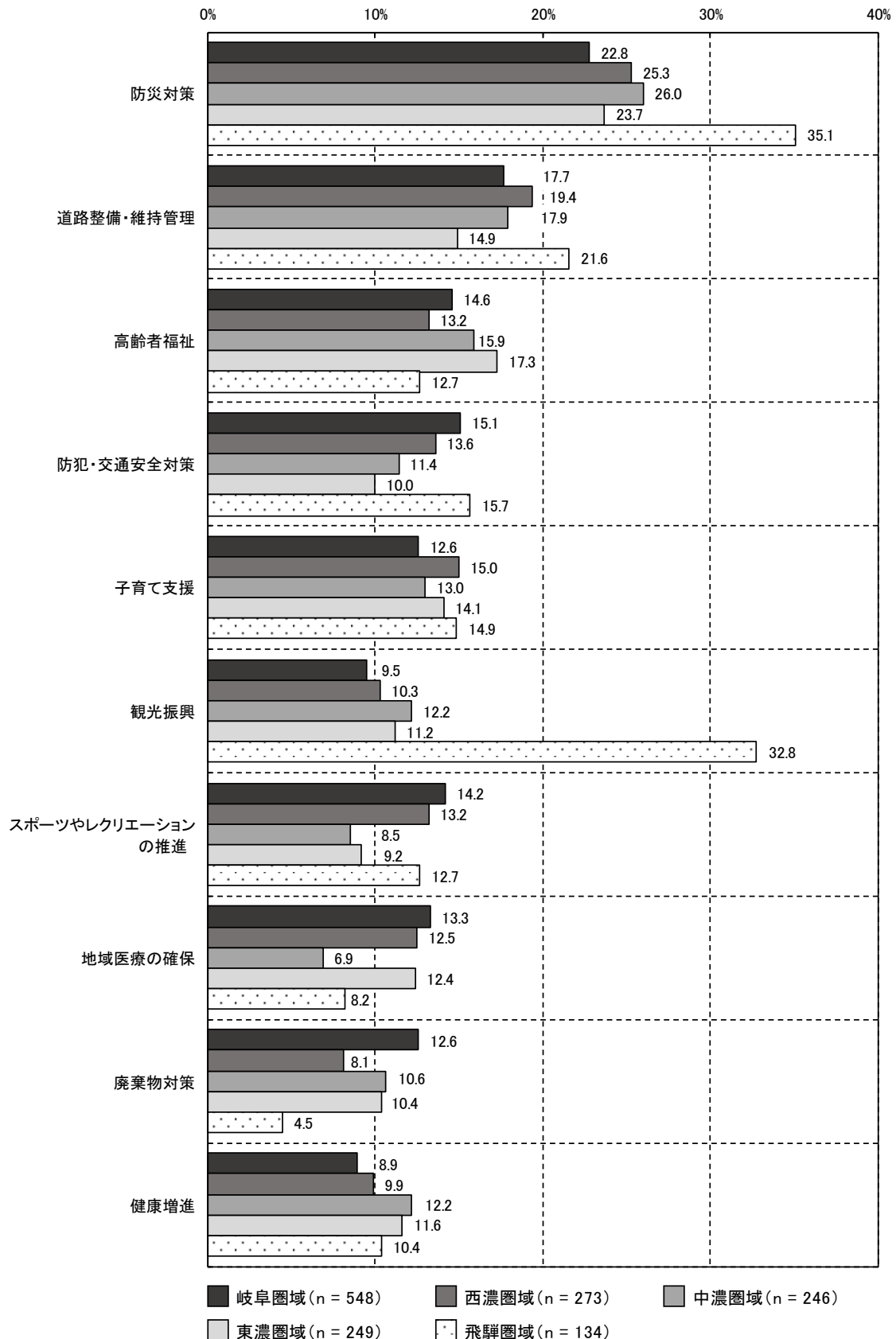
年代別（図 10-4）で見ると、30 歳代を除くすべての年代で「防災対策」が最も高く（40 歳代は「防災対策」と「子育て支援」が同率）、30 歳代は「子育て支援」（22.2%）が最も高くなっている。

図 10-4 【年代別】 県の取組でよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



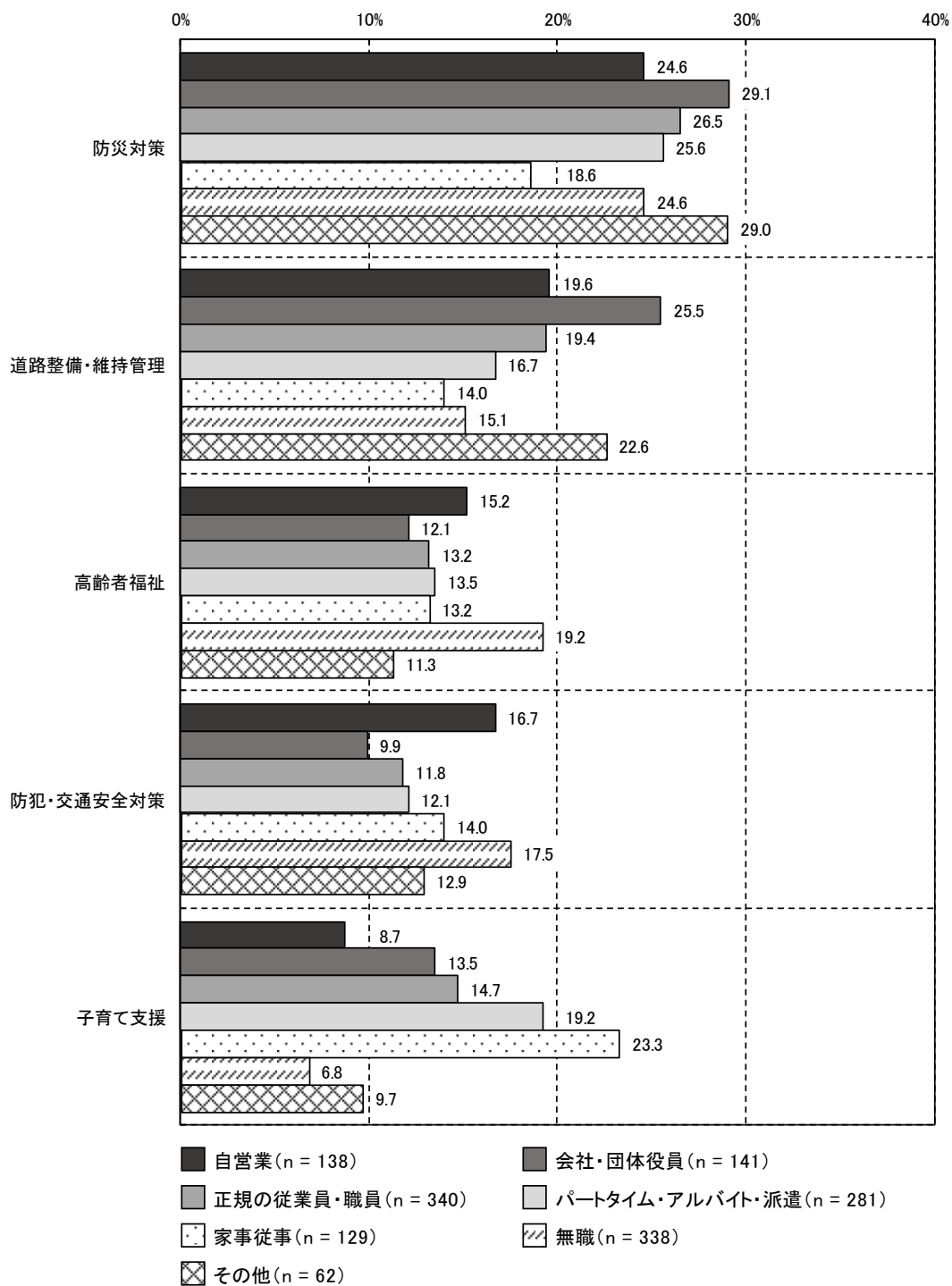
居住圏域別（図 10-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 35.1%と最も高くなっている。飛騨圏域では「観光振興」が他の圏域より 20 ポイント以上高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



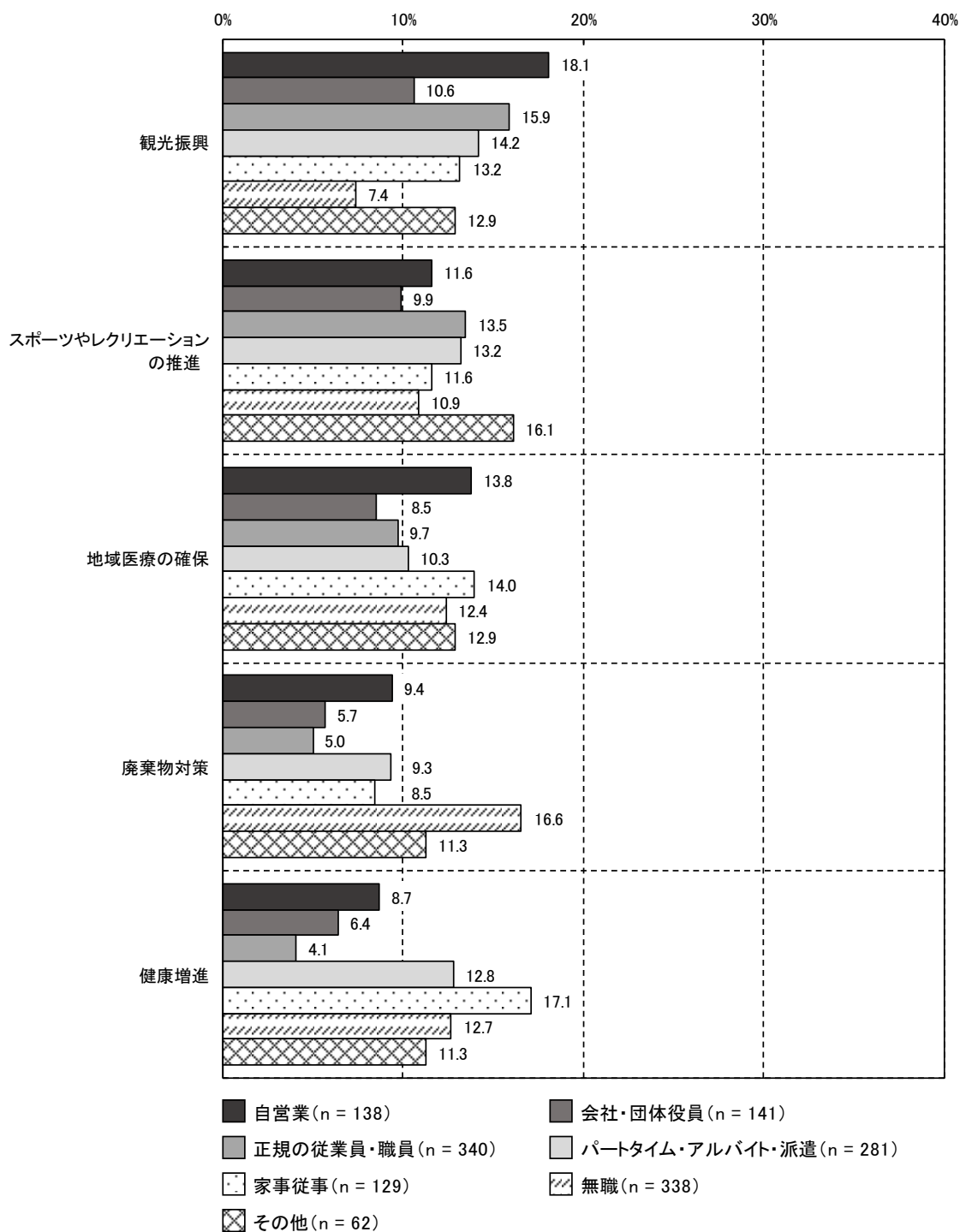
職業別（図 10-6）で見ると、家事従事を除くいずれの職業においても「防災対策」が最も高くなっている。家事従事は「子育て支援」が最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)

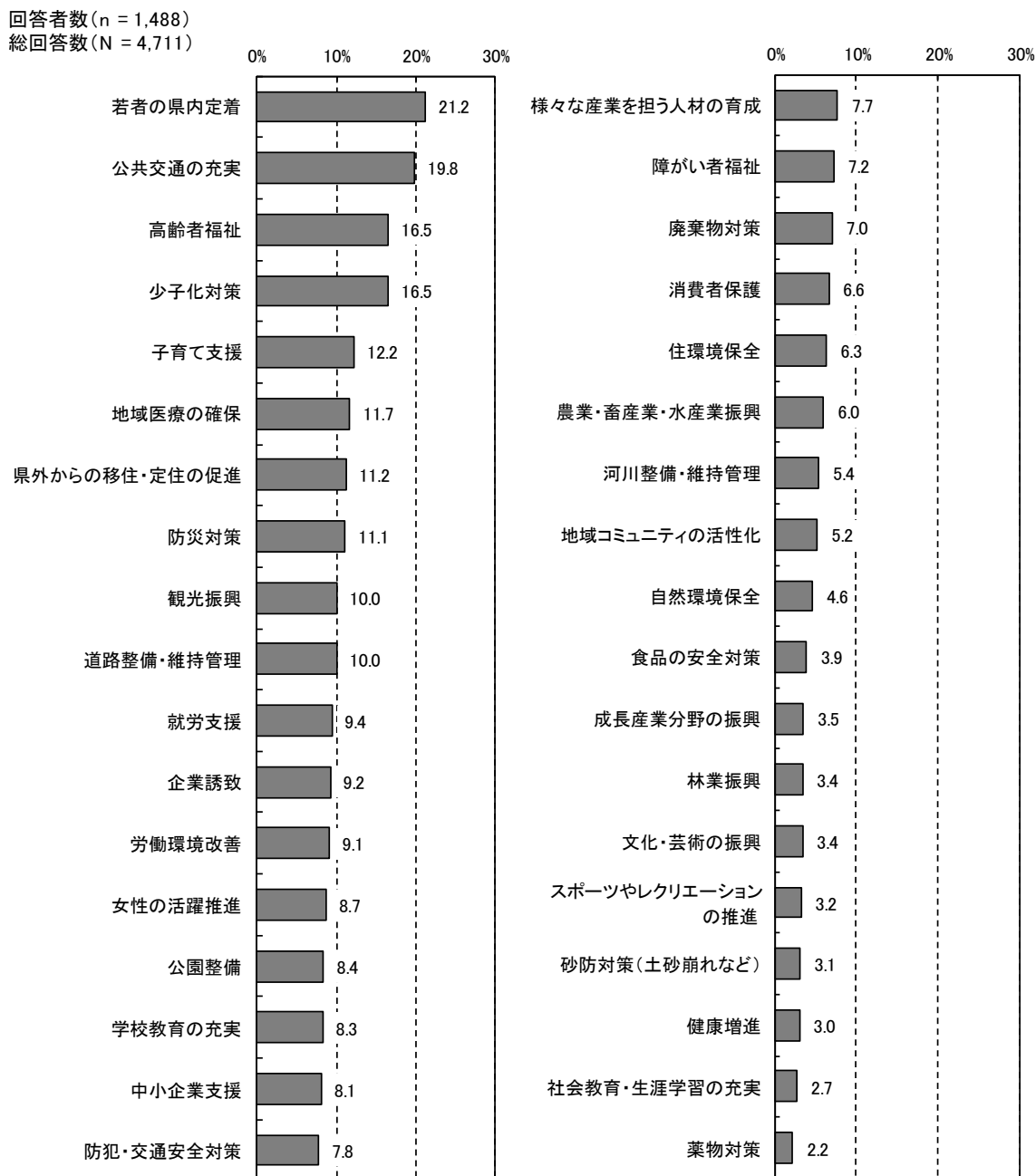


※ その他には、自由業、学生を含む。

【県の取組で努力が足りないと思う分野】

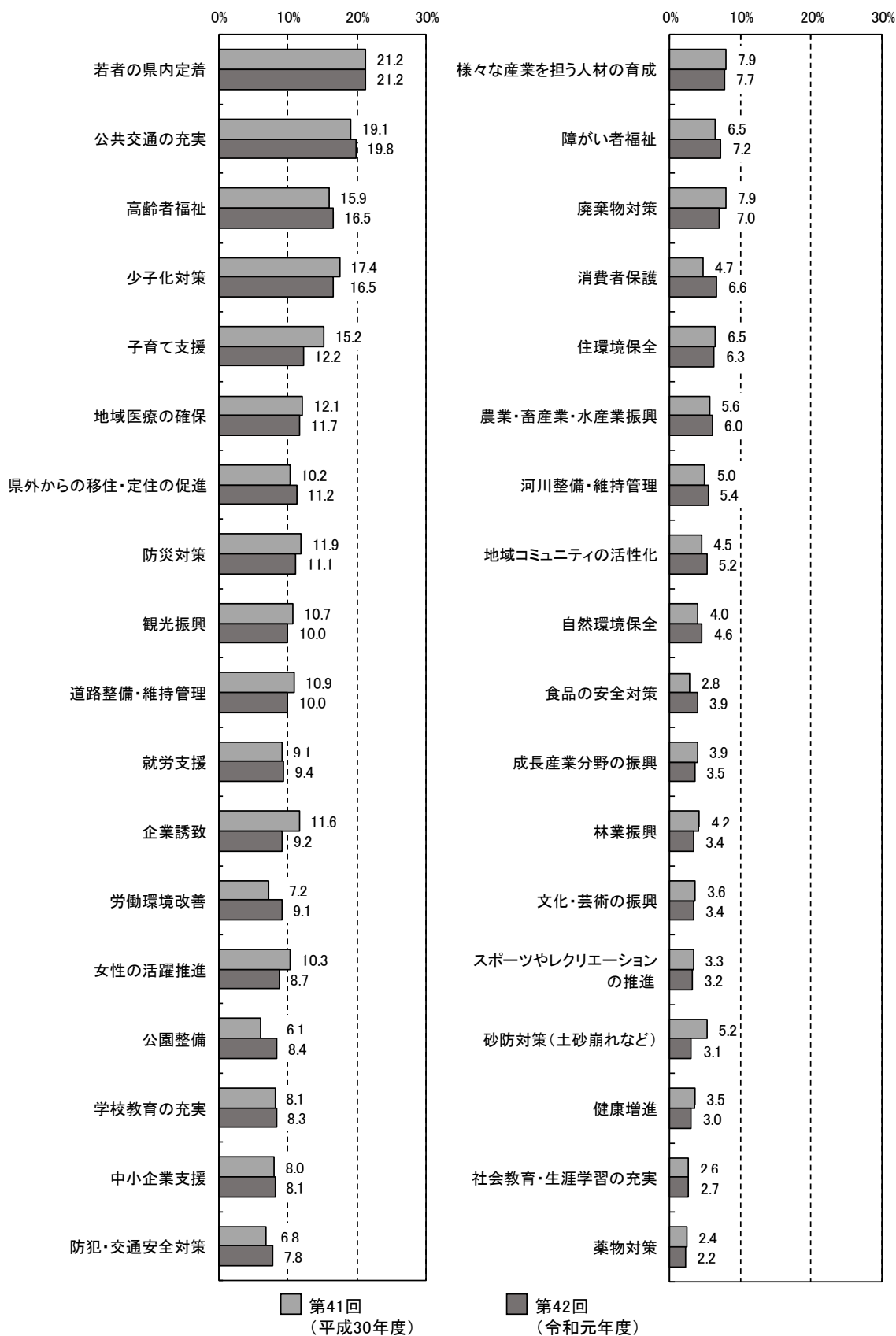
全体（図 10-2-1）で見ると、「若者の県内定着」が 21.2%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（19.8%）、「高齢者福祉」と「少子化対策」（ともに 16.5%）の順となっている。

図 10-2-1 県の取組で努力が足りないと思う分野



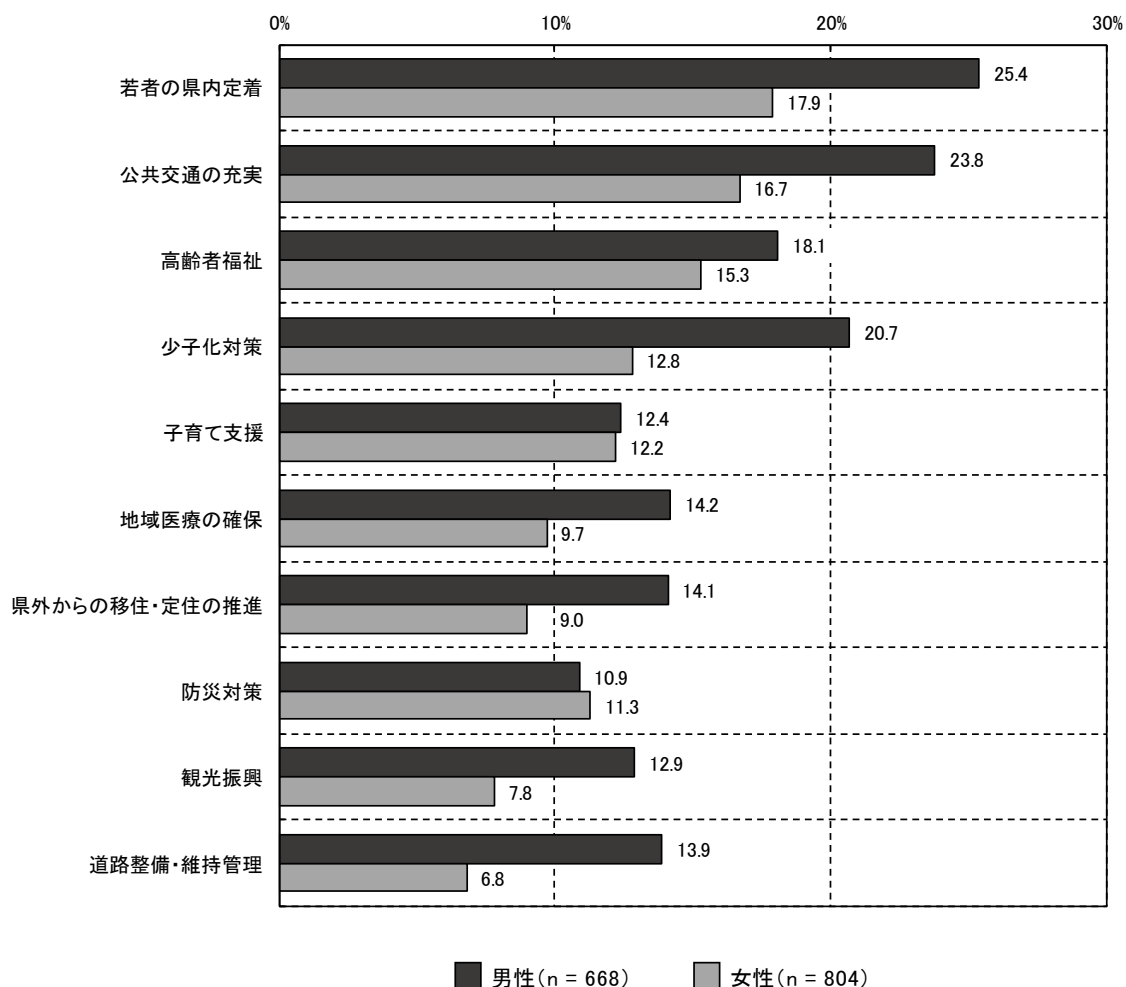
前回比較（図 10-2-2）で見ると、前回と同様に「若者の県内定着」が 21.2%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（19.8%）となっている。前回第3位の「少子化対策」と前回第4位の「高齢者福祉」が同率（16.5%）で第3位となっている。

図 10-2-2 【前回比較】 県の取組で努力が足りないと思う分野



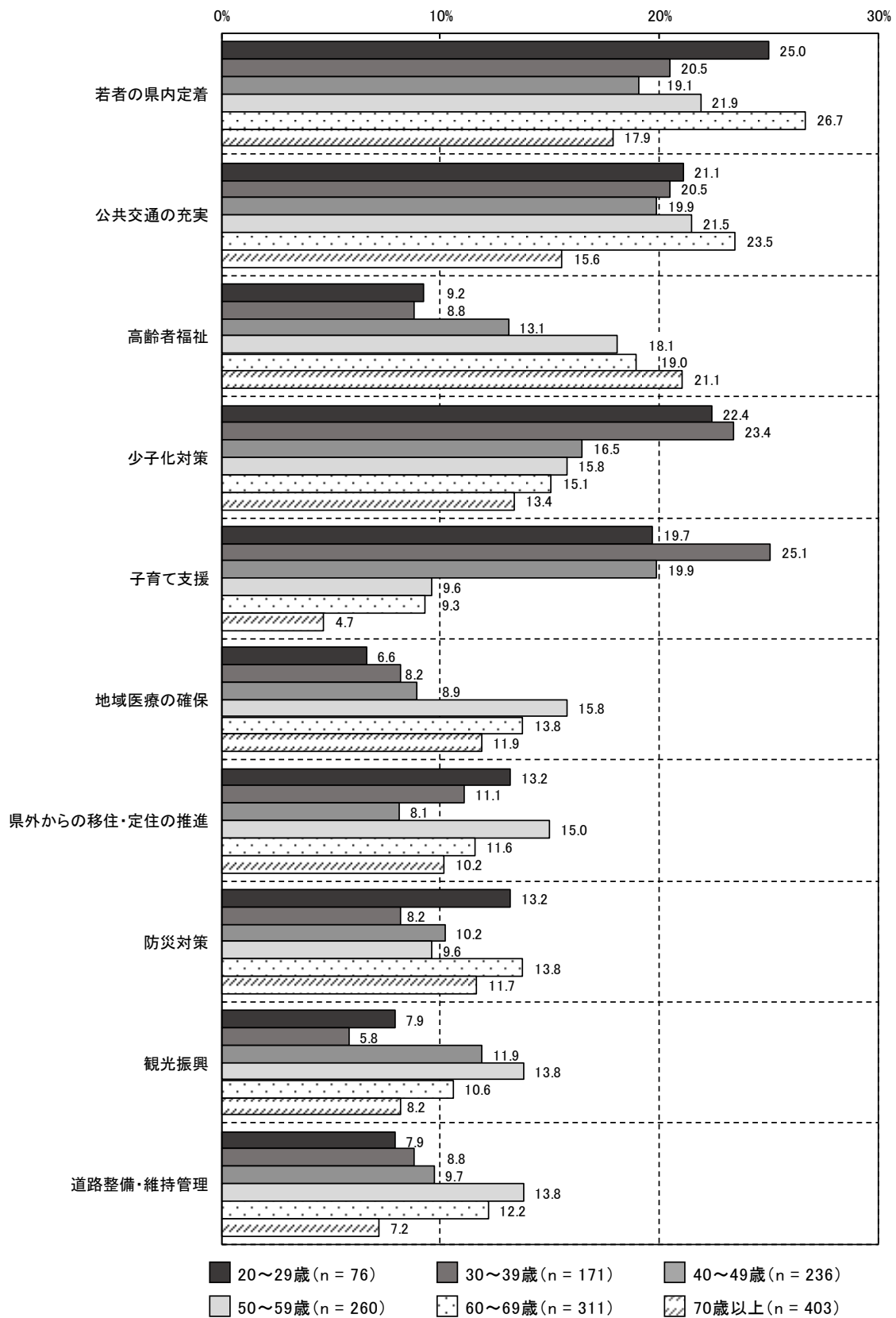
性別（図 10-2-3）で見ると、男女ともに「若者の県内定着」が最も高く、次いで「公共交通の充実」となっている。次に、男性では「少子化対策」、女性では「高齢者福祉」が続き、「少子化対策」では男性が女性より 7.9 ポイント高くなっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



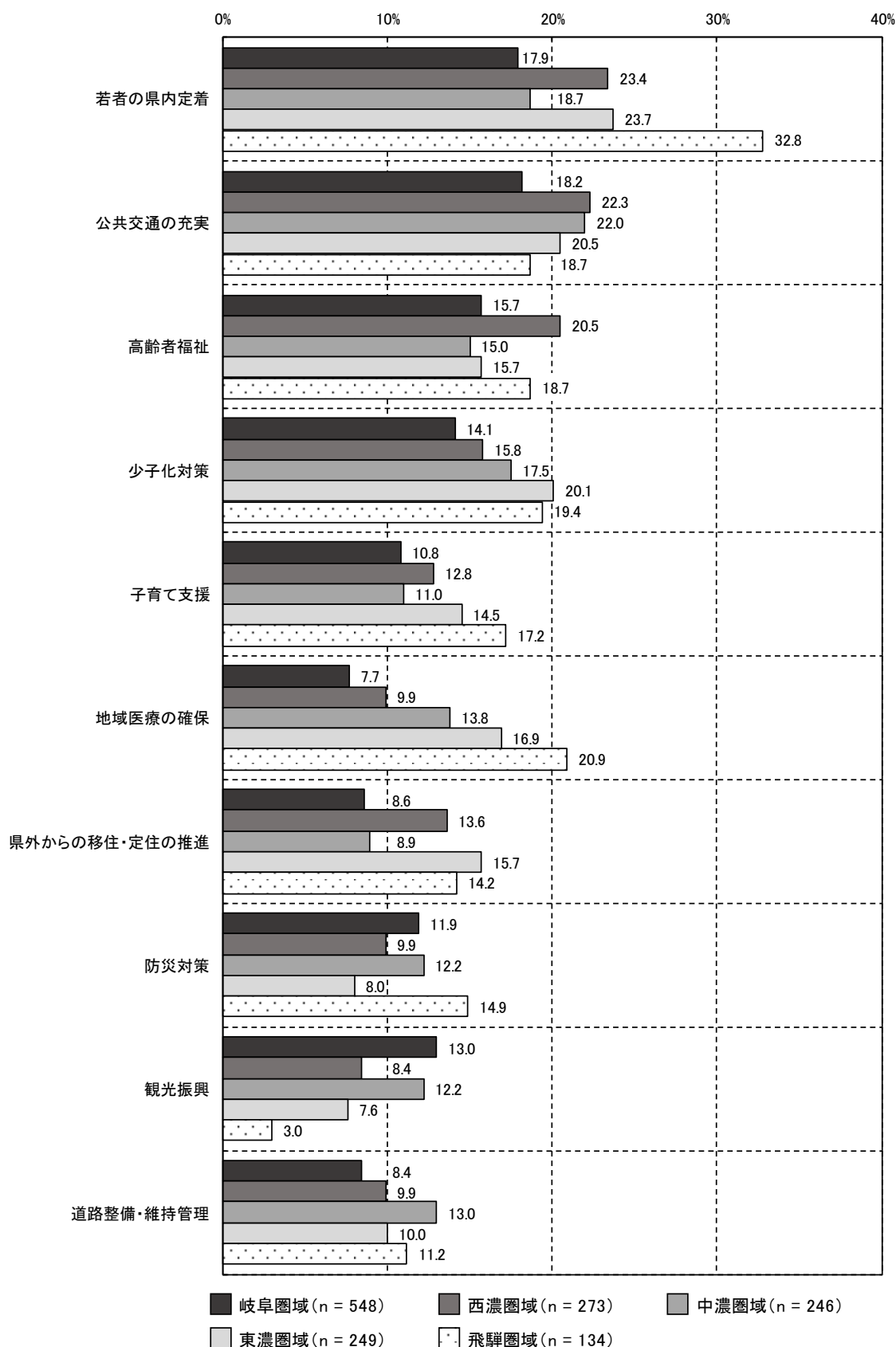
年代別（図 10-2-4）でみると、20 歳代、50 歳代、60 歳代は「若者の県内定着」が最も高く、30 歳代は「子育て支援」（25.1%）が、40 歳代は「公共交通の充実」と「子育て支援」（ともに 19.9%）が、70 歳以上は「高齢者福祉」（21.1%）が最も高くなっている。

図 10-2-4 【年代別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



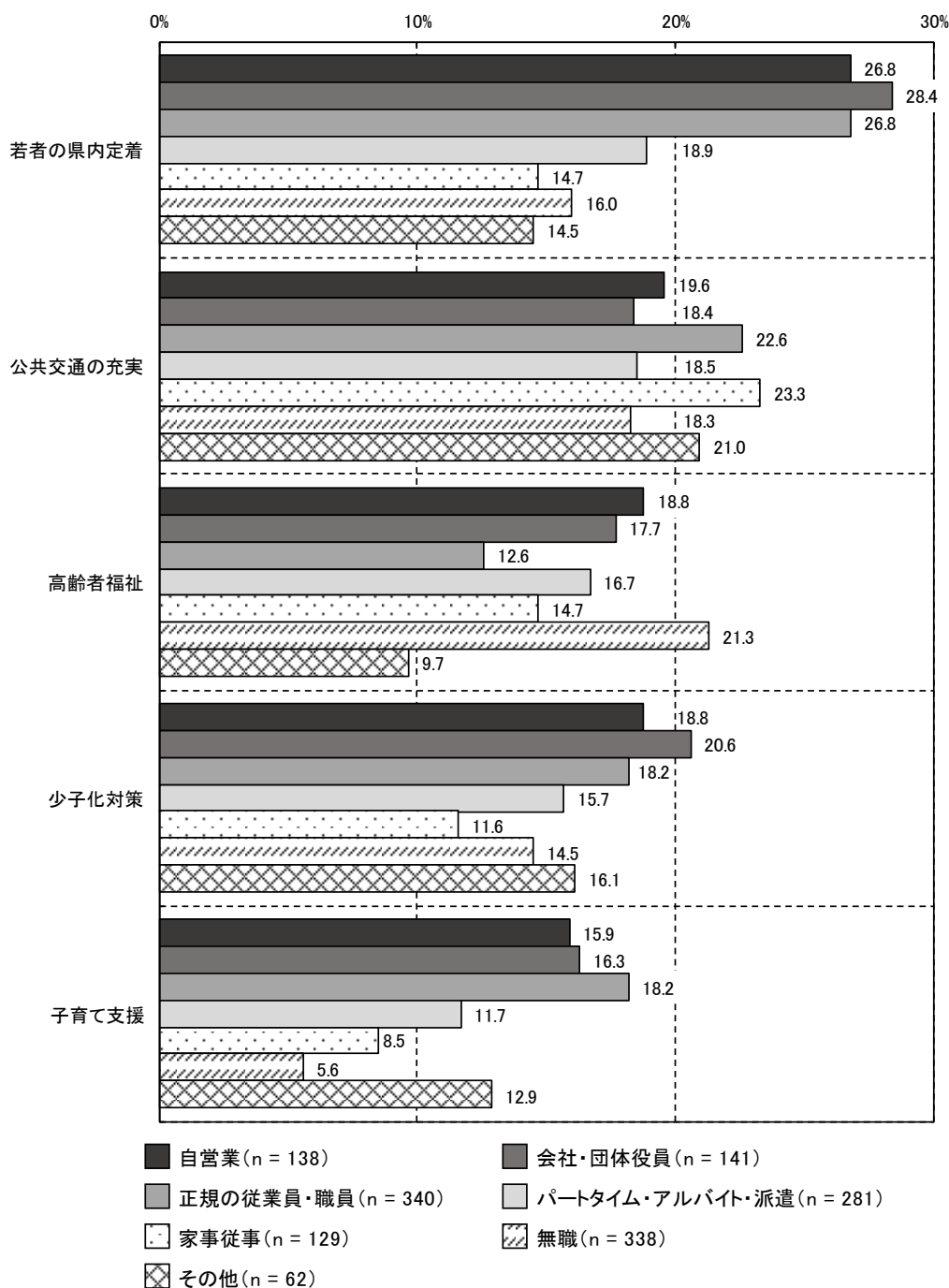
居住圏域別（図 10-2-5）で見ると、西濃圏域、東濃圏域、飛騨圏域では「若者の県内定着」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 32.8%と最も高くなっている。岐阜圏域、中濃圏域では「公共交通の充実」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



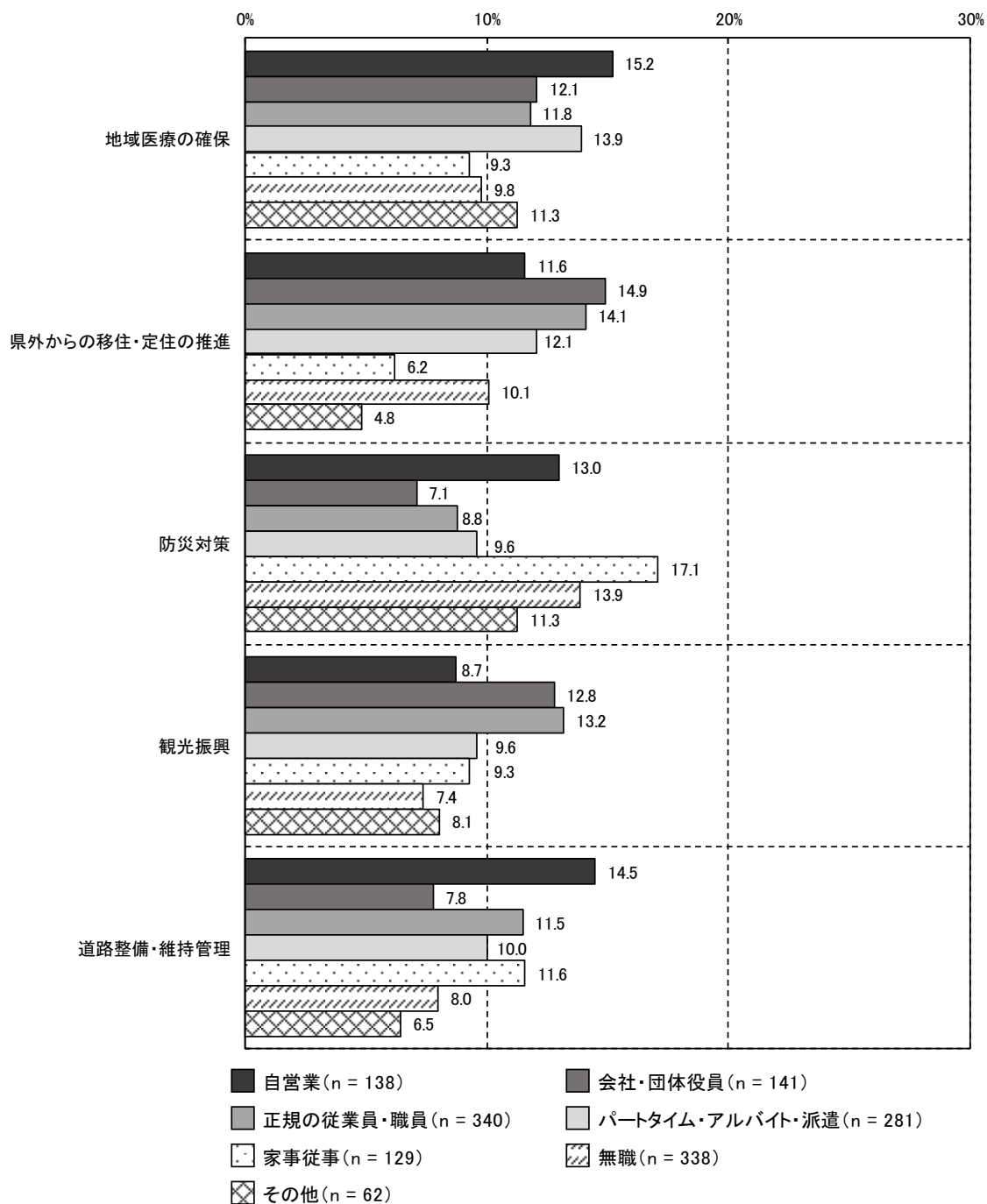
職業別（図 10-2-6）で見ると、自営業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣では「若者の県内定着」が最も高く、家事従事、その他では「公共交通の充実」が、無職では「高齢者福祉」（21.3%）が最も高くなっている。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。